

このたびは、TOA サブウーハーシステムをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みにになり、未長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みにになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みにになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

工事は専門業者に依頼する

フライングの工事には、技術と経験が必要です。技術や経験のない業者が工事を行うと、落下して、けがの原因となります。



強制

フライング工事をするときの注意

次のことを必ずお守りください。
守らないと、吊り下げワイヤーやベルトが外れたり、切れたりして、スピーカーが落下し、けがの原因となります。

- 吊り下げワイヤー、ベルトなどが重量物に対して十分な強度があること。
- 吊り下げワイヤー、ベルト側の金具がスピーカー側の金具に確実に固定されていること。
- すべてのパーツ（エンクロージャ、金具、ねじ類など）に変形、亀裂、腐食などが発生していないこと。
- 取り付けのためのねじ類は、必ずフライング金具に付属のものを使用すること。



強制

設置場所の強度を確認する

取付金具類を含む全重量に十分耐えられる強度のある所に取付けてください。十分な強度がないと落下して、けがの原因となります。



強制

屋外に設置しない

本機は、屋内専用品です。屋外で使用すると、部品の劣化により、機器が落下して、けがの原因となります。



禁止

取り付けは2人以上で行う

1人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となります。



強制

指定方法以外の取り付けかたをしない

指定の取付方法を守らないと、無理な力がかかり、落下して、けがの原因となります。



禁止

適切なボルト、ナット類を使用する

天井の材質、構造に適したボルト、ナット類を使用してください。守らないと、落下して、けがの原因となります。



強制

各部のボルト、ナット類は確実に締め付ける

取り付け後、ゆるみ、がたつきがあると、落下して、けがの原因となります。



強制

常に振動する場所に取り付けない

振動で金具が破損し、落下して、けがの原因となります。



禁止

錆の発生しやすい場所に設置しない

換気の十分でないプールなどに設置しないでください。錆により部品が腐食し、落下して、けがの原因となります。



禁止



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

前面パンチングネットのエッジで手をこすらない

強くこすると、けがの原因となることがあります。



禁止

配線はアンプの電源を切ってから行う

電源を入れたまま配線すると、感電の原因となることがあります。



強制



注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。



禁止

長時間、音が歪んだ状態で使わない

スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。



禁止

製品の上に乗らない

本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。



禁止

定期的な点検をする

販売店に、定期的な点検を依頼してください。スピーカーまたは取付金具類の破損や腐食などにより、落下して、けがの原因となることがあります。

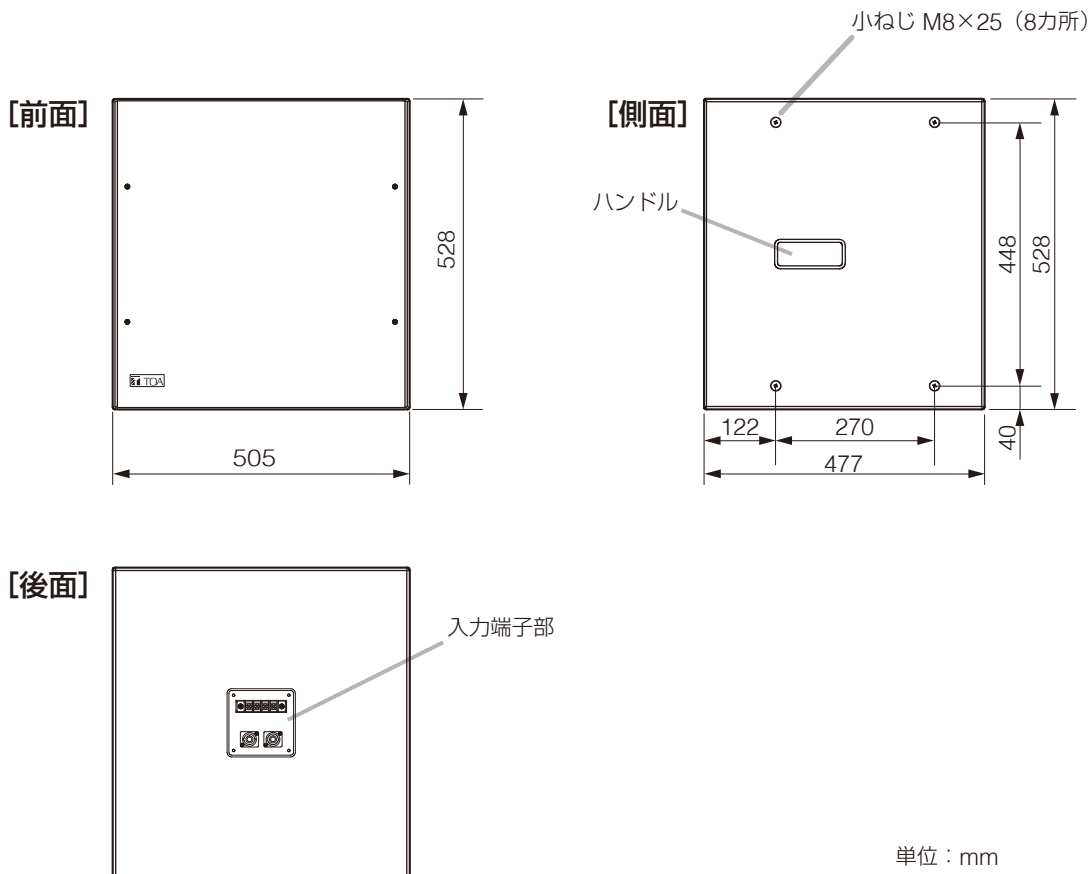


強制

概要

ハイパワー 38 cm ウーハーを使用したコンパクトな屋内用サブウーハーシステムです。スピーカーシステム HX-7 シリーズなどフルレンジスピーカーと共に使用し、躍動感のある低音を実現します。別売のスピーカー吊り下げフレーム HY-PF7B または HY-PF7W を使用して、ワイヤーやチェーンなどで吊り下げて設置することができます。

外観寸法図



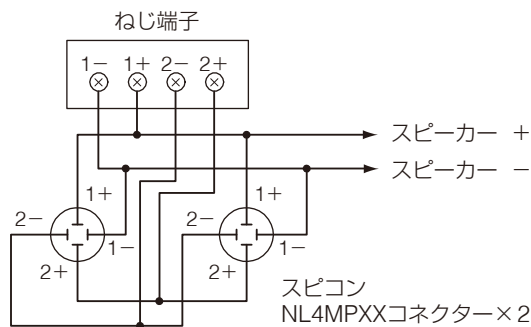
入力端子部

- コネクタとねじ端子は内部で並列に配線されているので、どちらからでも接続できます。
- 下図のように、2台のスピーカーシステムをカスケードに平行駆動することができます。

- スピコン NL4MPXX コネクタの各ピンは、下表のとおり結線されています。

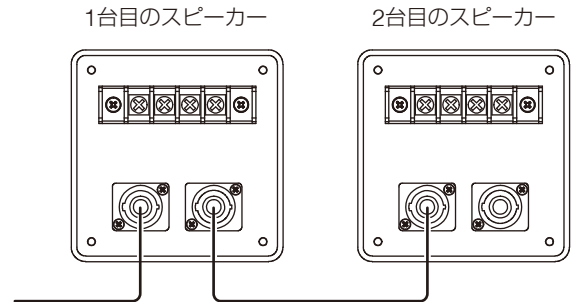
ピン番号	FB-150B、FB-150W
1 +	スピーカー +
1 -	スピーカー -
2 +	-
2 -	-

- スピコン NL4MPXX に適合するコネクタ（接続ケーブル側）は、スピコン NL4FC または NL4FX です。
- 入力コネクタの結線図は、下図のとおりです。



で注意

スピーカーシステムは、パワーアンプの4Ω以下の出力端子に接続してください。4Ωを超える出力端子に接続すると、アンプが故障することがあります。



設置のしかた

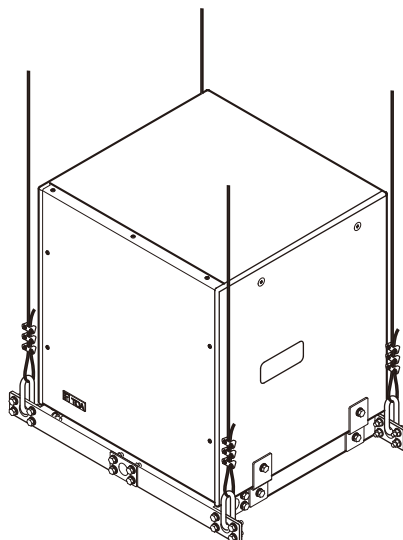
床の上に据え置くか、天井などから吊り下げて設置することができます。吊り下げ設置には、別売のスピーカー吊り下げフレーム HY-PF7B または HY-PF7W を使用します。



警告

- ワイヤー、チェーン、およびアンカーシャックルは、取り付ける製品総重量に十分耐えられる強度のあるものをご使用ください。守らないと、落下してけがの原因となります。
- フライング作業は必ず2人以上で行ってください。1人で行うと、落下したり、転倒したりして、けがの原因となります。

※ 吊り下げかたは、HY-PF7B または HY-PF7W に付属の取扱説明書をお読みください。



DSP によるイコライジング

FB-150 シリーズを当社の HX-7 シリーズと組み合わせて使用するときには、当社のデジタルシグナルプロセッサ（DSP）で推奨のパラメーターを設定して使用することをおすすめします。
設定については、HX-7 シリーズの取扱説明書をお読みください。

レベルバランスと極性について

FB-150 シリーズを当社の HX-7 シリーズなどのフルレンジスピーカーと組み合わせて使用するときには、設置場所に応じてお互いのレベルバランスや極性を調節してください。

【レベルバランスの調節】

設置台数や設置条件などを考慮して、サブウーハーとフルレンジスピーカーのレベルバランスを調節してください。

【極性の調節】

- サブウーハーとフルレンジスピーカーのクロスオーバー帯域では、お互いの位相が同相のときは音響エネルギーが加算されますが、逆相のときは音響エネルギーが減算されてしまいます。サブウーハーもフルレンジスピーカーも、位相特性は周波数に応じて連続的に変化していますので、必ずしもサブウーハーの極性表示どおりに接続するのが良いとは限りません。
- 音響エネルギーの加算度合いを比較するために、サブウーハー側の接続を+/-反転させてみて、どちらの接続が音響エネルギーを増大させるかを確認した上で、音響エネルギーを増大する方を選んでください。
(極性を適切に合わせるために、リアルタイムスペクトルアナライザーなどで実際に測定することをお勧めします。)

仕 様

品 番	FB-150B	FB-150W	
許 容 入 力	連続ピンクノイズ：200 W、連続プログラム：600 W		
インピーダンス	8 Ω		
出力音圧レベル	93 dB (1 W, 1 m)		
周波数特性	40 ~ 400 Hz (-10 dB)		
使用スピーカー	38 cm コーン型		
入力端子	スピコン NL4MPXX × 2 および M4 ねじ端子、バリアー間隔 10 mm		
仕上げ	エンクロージャ	MDF、黒（マンセル N1.0 近似色）、ウレタン塗装	MDF、ホワイト（マンセル N9.5 近似色）、ウレタン塗装
	パンチングネット	表面処理鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）、塗装	表面処理鋼板、ホワイト（マンセル N9.5 近似色）、塗装
寸 法	505 (幅) × 528 (高さ) × 477 (奥行) mm		
質 量	30 kg		
別 売 品	リギングフレーム HY-PF7B	リギングフレーム HY-PF7W	

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

TOA お客様相談センター 商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9:00 ~ 17:00 (土日、祝日除く) TOA ホームページ https://www.toa.co.jp/	フリーダイヤル (固定電話専用) 0120-108-117 ナビダイヤル 0570-064-475 (有料) FAX 0570-017-108 (有料) ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。 最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。	当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。
--	--	--	---